

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成26年12月18日 (2014.12.18)

【公開番号】特開2013-156013(P2013-156013A)

【公開日】平成25年8月15日 (2013.8.15)

【年通号数】公開・登録公報2013-043

【出願番号】特願2013-87280(P2013-87280)

【国際特許分類】

F 2 4 F 7/00 (2006.01)

A 4 5 D 20/12 (2006.01)

F 2 4 F 1/00 (2011.01)

【F I】

F 2 4 F 7/00 B

A 4 5 D 20/12 Z

F 2 4 F 1/00 3 7 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月5日 (2014.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

空気を送出する第 1 吹出部に連通する第 1 通路にプラスイオンを放出するイオン発生装置と、

空気を送出する第 2 吹出部に連通する第 2 通路にマイナス電荷に帯電した霧状の帯電微粒子水を放出する静電霧化装置と、

前記プラスイオン及び前記帯電微粒子水を送出する送風機と、

を備え、第 1 通路と第 2 通路との間に仕切板を設けるとともに、第 1 吹出部の近傍に第 2 吹出部を配置したことを特徴とするイオン送出装置。

【請求項 2】

空気を送出する吹出口に連通する排気路にプラスイオンを放出するイオン発生装置と、一端が前記排気路に連結される連通路にマイナス電荷に帯電した霧状の帯電微粒子水を放出する静電霧化装置と、

前記プラスイオン及び前記帯電微粒子水を送出する送風機と、

を備え、前記静電霧化装置が前記連通路の他端を塞ぐとともに前記静電霧化装置の放電電極が前記連通路に臨んで配されたことを特徴とするイオン送出装置。

【請求項 3】

前記静電霧化装置が放電電極と前記放電電極を冷却するペルチェ素子と前記ペルチェ素子に接する放熱フィンとを有し、前記送風機の駆動によって気流が流通する第 2 通路に前記放電電極が臨んで配されるとともに、前記第 2 通路に対して前記放電電極の上流で分岐して下流で合流する分岐路に前記放熱フィンが臨んで配されることを特徴とする請求項 1 に記載のイオン送出装置。

【請求項 4】

請求項 1～請求項 3 のいずれかに記載のイオン送出装置を備えたことを特徴とする空気調節装置。

【請求項 5】

請求項 1 または請求項 2 のいずれかに記載のイオン送出装置を備えたことを特徴とする理美容機器。